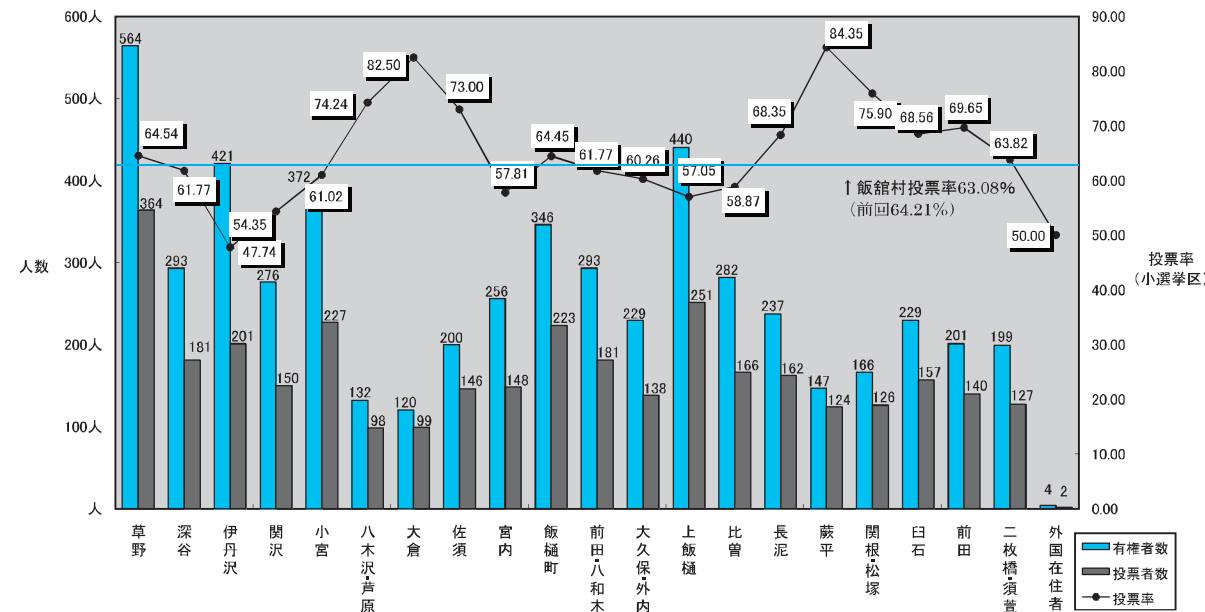


入札結果

平成 22 年 7 月 20 日 / 現在 (単位:円)

工事(業務)等の名称 (実施箇所)	契約価格 (税込み)	契約業者	完成予定
平成 22 年度草野地区宅地分譲地測量・設計・積算業務委託 (草野字大師堂地内)	6,006,000	(財)ふくしま市町村建設支援機構	8 月下旬
平成 22 年度公有林造林事業(下刈)委託業務 (草野字七郎内地内)	945,000	飯館村森林組合	7 月下旬
平成 21 年度線越明許費県単林道整備事業岩部線請負第 2 回工事(舗装) (飯樋字岩部地内)	16,275,000	(株)英工務店	11 月下旬
平成 22 年度飯館中学校前庭整備工事 (伊丹沢字山田地内)	27,300,000	濱田建設工業(株)	9 月下旬
平成 22 年度飯館村 G I S カスタマイズ業務 (伊丹沢字伊丹沢地内)	1,942,500	(有)大内測量設計事務所	平成 23 年 3 月下旬

第 22 回参議院議員通常選挙 行政区別投票結果 (平成 22 年 7 月 11 日執行)



開票結果 (得票順)

選挙区	いわき光英	ましこ輝彦	岡部みつり	いわぶち友	菅野かずまさ	無効票	合計
【選挙区】	1542	1021	312	249	190	97	3411

比例区	自由民主党	民主党	公明党	みんなの党	日本共産党
	1138.8	906.2	355	240	215
	新党改革	社会民主党	国民新党	たちあがれ日本	女性党
	94	74	68	55	20
	幸福実現党	日本創新党	無効票	按分切捨て	合計
	18	12	212	3	3411

※名簿登載者の得票数を含む。

エコハウス IN 飯館村

「までいな家」通信

◆◆◆エコのあれこれ◆◆◆

住宅の省エネ化が CO₂排出の抑制に効果的です

平成 19 年度に日本で排出した CO₂の 21% が家庭からの排出とされています。※ 環境省「2007 年度(平成 19 年度)の温室効果ガス排出量(確定値)について」よりでは、家庭のどのような場面で CO₂が排出されているのでしょうか。

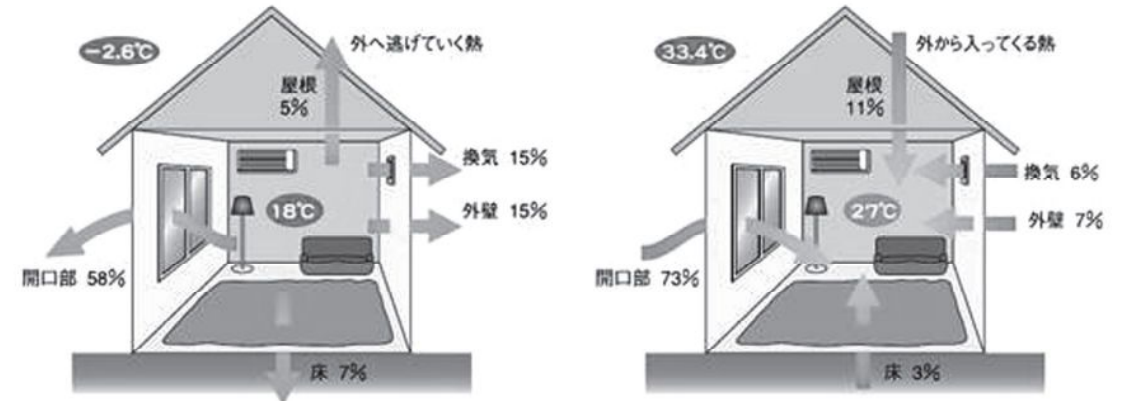
家庭からの CO₂排出を原因別に見ると、**照明や冷蔵庫、テレビなど 32.2%、自家用車の利用 28.7%、冷暖房と給湯 28.6%**などとなっています。(平成 19 年度全国平均) こういった電気やガス、ガソリンを使う設備や機械の使用を少し控える、または無駄をなくすことは、とても大切です。たとえば、人のいない部屋の明かりを消す、冷房の温度を高め設定する、お風呂を何度も沸かさなくてもいいように家族が続けて入るなど。

でも、健康で快適な暮らしも大切。そこで、住宅を省エネ化することが、家庭での地球温暖化対策としてとても効果的になってきます。せっかく電気や灯油を使って部屋を暖めても、その熱が家の外に逃げていっては、エネルギーの無駄です。では、冷暖房の熱は、家のどこから出入りしているのでしょうか。

実は、すき間や換気だけではなく、窓や壁、床や屋根からも熱は出入りしています。

■冬の暖房時の熱が開口部から流失する割合 58%

■夏の冷房時(昼)に開口部から熱が入る割合 73%



建物を高断熱、高气密化することで、室内温度が外気温の影響を受けにくくなり、冷暖房に使用するエネルギー消費が抑えられるようになります。窓には、断熱ガラスや熱を伝えにくい構造の断熱サッシを付けたり、内窓や断熱ブラインドを取り付けて、断熱効果を上げます。壁や床(又は基礎外周部)、屋根には断熱材を入れます。

◆◆◆ All About (オールアバウト) 企業研修受け入れ 7月10日出~11日実施 ◆◆◆

「までいな暮らし普及センター」は、本村の風土に根ざした快適で低炭素なライフスタイルと環境負荷の低いエコハウスを理解できるよう体験を通じて学べる場として、また、村民はじめ都市住民の半農半 X (エックス) 的な暮らし(特技を持ちながら農業をたしなむ暮らし)を希望する人々に対しても体験学習の機会を提供し、本村の新たな環境管理の担い手として恒常的な交流、U・I ターンに結びつけようと、村内外からの企業研修受入事業に取り組んでいます。

今回は、株式会社オールアバウト(本社:東京都渋谷区、主な事業内容:専門ガイドによる総合情報サイトの運営・インターネット広告事業、等)の社員ほか 14 人を本村にお招きしました。受入プログラムは、初日は村長から「までいなライフの村づくり」の講話、までいな家案内、夕食は地産の凍み餅や山菜の御馳走、翌 2 日目の村内地域資源めぐりは、飯樋小学校校舎、小宮の EM・オー・シー福島研修所「いいたてふぁーむ」見学、昼食は「氣まぐれ茶屋ちえこ」で地元産の食を味わい、豊栄地区で「あぜ道ツアー」、前田バンカリ見学、もりの駅まごころで村の特産品のお買い物と盛り沢山。各施設をご案内いただいた皆さん、ありがとうございました。

参加者から「奥深い味わいのディナーをごちそうになった」「人の心や地域の中での繋がりと暮らしているもののあり方が見えた」「飯館村で学んだ『までいな』な生き方を、私のまわりから発信していこうと思います」等々、本村の創造的までいな暮らしや、環境に配慮した楽しい住まいに直接触れることができ、村の豊かさを体感して帰京されたようです。



▲あぜ道ツアー中、小川にてヤマメの稚魚に歓声